

JICA「世界の笑顔のために」プログラムにて マラウイ共和国へ医療備品を寄贈



この度本学では、独立行政法人国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局「世界の笑顔のために」プログラムを通じ、アフリカ南東部に位置するマラウイ共和国へ、車イス、スタンド型手動血圧計、点滴スタンド各一台の寄贈を行いました。本学では廃棄予定としていた備品です。

この寄贈は、河村 洋子 教授（安全衛生マネジメント学）を通じ、産業保健学部環境マネジメント学科卒業生（3期生）で、現在JICA海外協力隊、マラウイ共和国在住の河本 万里子 氏から、マラウイ共和国に病院を立ち上げるにあたり、本学からも不要物品等の寄贈が可能かとのご相談をきっかけに実現しました。

送付した備品は一旦国内で集められ、現地には2026年1月以降に届けられる予定となっています。ご協力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。

※独立行政法人国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局「世界の笑顔のために」プログラム：開発途上国で必要とされている、スポーツ、日本文化、教育、福祉などの関連物品を皆さまからご提供いただき、JICA海外協力隊や在外事務所を通じて、現地の人々へ届けるプログラムです。（JICA HPより抜粋）

（研究支援課・病院管理課）